

# 令和5年度「事業者アンケート」集計結果のまとめ

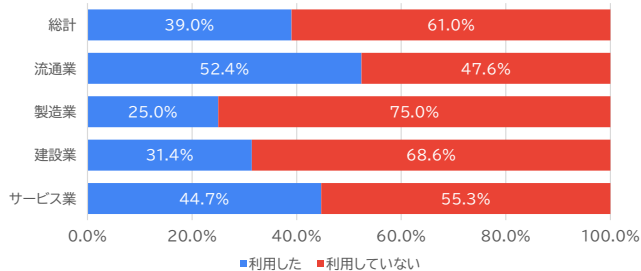
本巣市商工会では、毎年、市内の事業者の皆様へアンケートを実施し、経営の現況や課題などについてまとめています。今年度の結果をまとめましたので、ご報告いたします。

調査期間:2023年11月~2月上旬  
回収123サンプル。(内訳: サービス業:47、建設業:35、製造業:20、流通業:21。従業員数5人以下:92、6~20人:20、21人以上:11)

## 「本巣市事業者サポート補助金」の利用は4割

市内の事業者のみなさんのさまざまな活動に係る経費の一部を市が補助する「本巣市事業者サポート補助金」(申請期間:令和5年4月~10月)について、「利用した」のは39.0%となっています。業種別には、流通業やサービス業での利用が多くなっています。

本巣市事業者サポート補助金の利用の有無

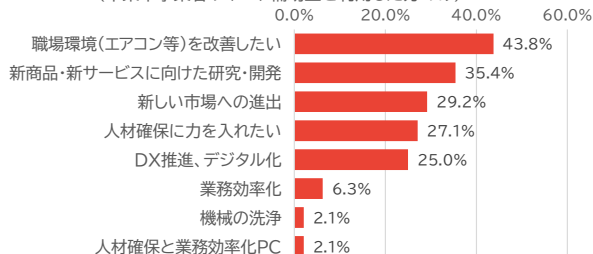


## 「サポート補助金」は、職場環境や研究開発へ

「本巣市事業者サポート補助金」を利用した方に、今後の補助金を利用したい取組として、「職場環境の改善」43.8%、「新商品・新サービスに向けた研究・開発」35.4%、「新しい市場への進出」29.2%、「人材確保に力を入れたい」27.1%、「DX推進、デジタル化」25.0%となっています。

今後、補助金を利用したい取り組み

(本巣市事業者サポート補助金を利用した方のみ)

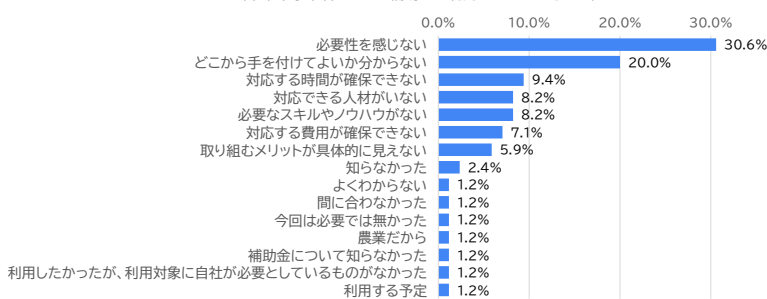


## 「サポート補助金」を利用しなかった理由は、「必要性を感じない」が3割

「本巣市事業者サポート補助金」を利用しなかった方の理由として多いのは、「必要性を感じない」が30.6%、「どこから手を付けて良いかわからない」が20.0%となっています。

本巣市事業者サポート補助金を利用しなかった理由

(本巣市事業者サポート補助金を利用しなかった方のみ)



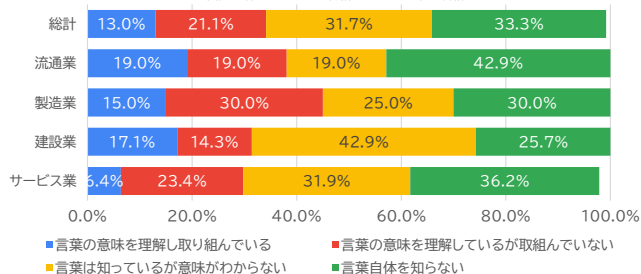
## DXへの取組は、全体で13%にとどまる

DX(デジタルトランスフォーメーション)についての取組について、「言葉の意味を理解し取り組んでいる」が全体で13.0%。流通業、建設業、製造業の順で高くなっています。「言葉の意味を理解しているが取り組んでいない」が全体で21.1%、「言葉は知っているが意味がわからない」が31.7%と、具体的な取組にまでは進んでいないのが現実のようです。

また、「言葉自体を知らない」が全体で33.3%と、3人に1人のレベルで知られていないようです。

DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組状況

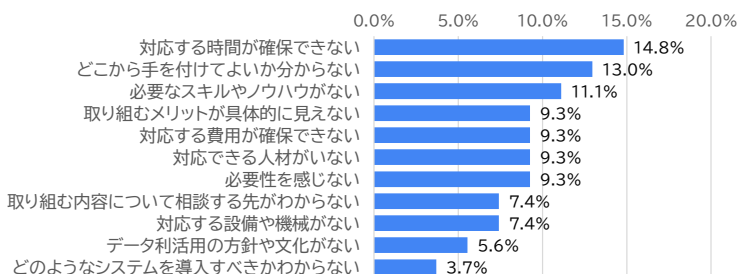
未記入者がいたため、総計とサービス業の合計が100%とはなりません



DXに取り組んでいない理由

## DXへの取組みのハードルは、対応する時間の確保とどのように取り組めば良いかわからない

DXに取り組んでいない理由としては、「対応する時間が確保できない」が14.8%、「どこから手を付けて良いかわからない」が13.0%、「必要なスキルやノウハウがない」が11.1%と続いています。



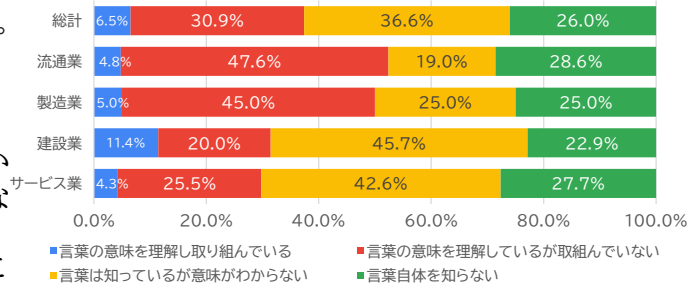
## CNへの取組をしているのは、全体で6.5%

CN(カーボンニュートラル)についての取組について、「言葉の意味を理解し取り組んでいる」が全体で6.5%。業種では、建設業が11.4%で最も多い取組みとなっています。

さらに、「言葉の意味を理解しているが取り組んでいない」が全体で30.9%、「言葉は知っているが意味がわからない」が36.6%と、具体的な取組にまでは進んでいないのが現実のようです。

また、「言葉自体を知らない」も全体で26.0%と、4人に1人のレベルで知られていないようです。

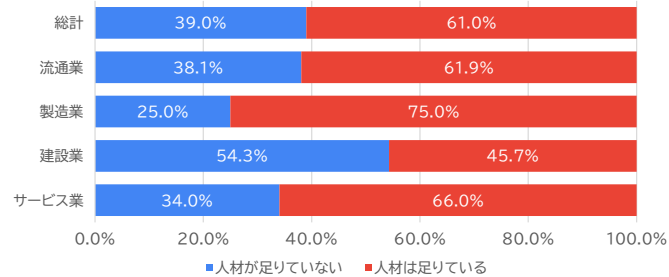
CN(カーボンニュートラル)への取組状況



## 人材が足りていないのは、全体で39.0%

様々な業界や事業者の間で、人材不足が問題となっていますが、本県市内でも、「人材が足りていない」が39.0%となっています。業種別に見ると、特に、建設業では、「人材が足りていない」が54.3%と多くなっています。また製造業では、「人材が足りていない」が25.0%と、他業種よりは少なく見えますが、1/4が足りていないという状況です。

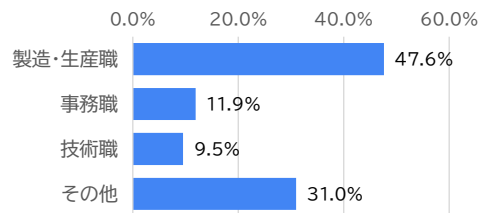
人材不足について



## 足りないのは、製造・生産職が全体で39.0%

人材不足を職種別に見ると、「製造・生産職」が約半数の47.6%と、他の職種に比べて最も深刻になっています。次いで、「事務職」の11.9%、「技術職」の9.5%となっています。また、それらに加え、様々な職種でも人材不足が挙げられています。

不足している人材の職種



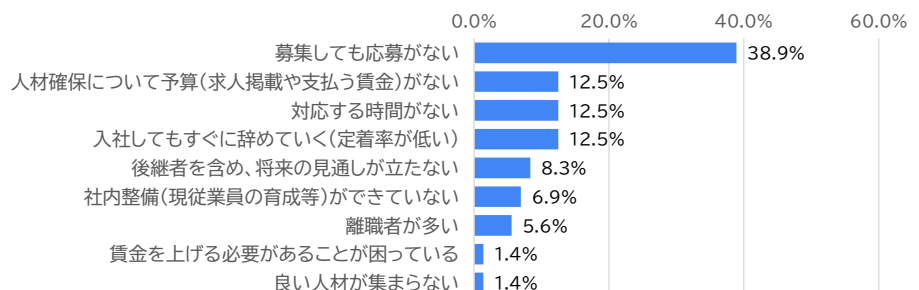
「その他」の内訳

営業職、施工管理技術者、技能職、現場作業員、作業員(建設業) 配送、営業職、事務職、製造・生産職、販売、営業職、事務職、製造・生産職、すべて(流通業) ポスティング配布人材、飲食店のホール・調理補助、警備業、接客業、店員、美容業、その他(サービス業)

## 人材不足で困っているのは「募集しても応募がない」

人材不足での一番の困りごとは、「募集しても応募がない」が38.9%となっています。さらに、「人材確保について予算がない」、「対応する時間がない」、「入社してもすぐに辞めていく」が12.5%となっています。

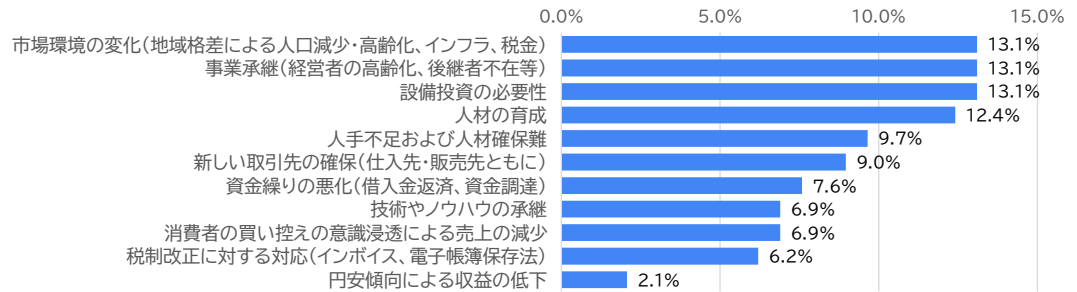
人材確保について困っていること(複数回答)



## 今後の課題は、「市場環境の変化」、「事業承継」、「設備投資の必要性」、「人材の育成」

現在また近い将来に自社の課題となる内容として挙げられているのは、「市場環境の変化」、「事業承継」、「設備投資の必要性」が13.1%と並び、「人材の育成」が12.4%と高くなっています。

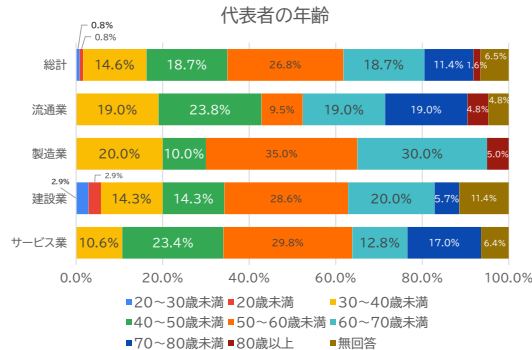
現在また近い将来に自社の課題となる内容



## 自分の代で廃業予定は3割弱

事業承継の予定については、「現在の事業を継続するつもりはない(自分の代で廃業予定)」が27.6%と高くなっています。「後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する」14.6%、「後継者は決まっていないが、後継者候補はある」10.6%、「後継者は決まっておらず、候補もいないが、事業を継続したい」が9.8%となっている。これら3つで35.0%となっています。

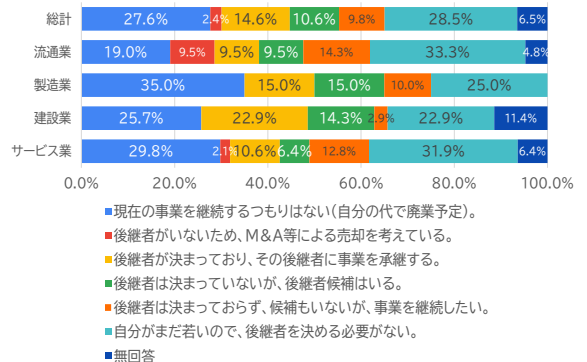
なお、現在の代表者の年齢は、60代以上で31.7%で、70代以上が13.0%となっています。



## 事業承継の悩み

- まず何から手を付けていけば良いかわからない。(流通業)
- もう先細りの業種であるため、私の代で廃業を考えている(製造業)
- 高齢になっても、働けるうちは働きたいと思っている反面、世の中の流れ(電子化)について行けない。設備投資するほどの見返りも望めないし、技術職の場合、人材に教え、覚えて貰う迄に時間が掛かる。(建設業)
- 事業継承の引き継ぎ・費用(建設業)
- 事業主の急な体調悪化により、予定を早めて事業承継を進める必要性が出ており、対応に不安を感じている(流通業)
- 自分の代で終わらせるつもりだが、若い従業員がいる為、そのあとについてはまだ結論がでていない。(サービス業)

## 事業承継の予定



商工会の経営支援業務や、県・市の支援(補助金等を含む)に、要望したいこと

- これからも継続して貰いたい。(建設業)
- やたらと書類の多さと事後報告が面倒そうなのが支援の妨げになっている感じがあり(製造業)
- 県や市単位の補助金は継続して欲しい。事業者同士のマッチングを積極的に行なって欲しい。(サービス業)
- 若年層には、早期に技術継承の体験学習をさせる制度を設けてほしい。(建設業)
- 手続きが煩雑過ぎて、なかなか手がつけられない。(製造業)
- 人材に関する問題解決の方法についての施策を求める(サービス業)
- 人材確保の手段(建設業)
- 物価高や賃金高騰での助成金を手厚く出して欲しい(流通業)

本業市商工会では、新商品開発や販路開拓支援の一環として需要動向調査やビジネスマッチング、その他各種メディアへのプレスリリースに関するご相談も承っております。

お気軽にお問い合わせください。

〒501-0406 岐阜県本巣市三橋1101-6 TEL.058-323-1010 FAX.058-323-1093